



Table with 2 columns: 日 (Day) and 一 (Monday). It lists dates and possibly related events or prices.

昭和十二年の初頭に方り 聖代を讃仰し奉る

茲に昭和十二年を迎ふるに方り、徐ろに越し方を顧みて先人苦闘の跡を察ね以て永遠不滅の示唆を仰ぎ大に將來に資せんとする。蓋し歴史は常に學ぶものゝ爲に餘白を存するが故に極めて陳腐な語彙を、所謂一年の計は元且に在りて躬行せんとする吾人は、須く敬崇すべき祖先傳來の呼吸脈搏に心耳を澄まし、其間世にも偉大なる金字塔的教訓を体得し以て燃原なる人生の一頁を彩らねばならぬからである。惟ふに多幸なる吾人は祖先と共に光輝ある建國三千年來の歴史に恵まれ、渾圓球上最も力強き國民として生きて來た、炳乎日星の輝きにも儼ふべき御稜威に光被さるる吾人一億同胞の恩寵と矜持とは世上匹敵すべき何物も存在せぬではないか。田家の雪に映發する元朝の日出の様な蒼生の生氣溼潤たる感激こそは吾人赤子を驅つて必然的に渾身の赤誠を獻げ、上聖明に應へまつらんとする不退轉の一大勇猛心を沸き立たしむるのである。

今日の滿天滿地、森羅萬象の悉くは、上一君の無窮と下萬民の前途を祝福し、燦々の春陽は東洋の平和に儼然君臨する全國土の上に朗かな微笑を投じて居る。

昭和十二年の初頭に方り謹みて、聖天子の萬歳を謳歌し奉る

磐城新聞社

丑歳に因める歌

國王 喜輝

- カリ／＼とポブラのこよをかぢり居る牡牛のせなは冬日はそく
- 買られ行く牛か冬日の田舎道鳴き動かし曳けど叩けて
- 黒き牛の何をか怒る鞭鳴らし打てど動かす泥土の道
- 恰牛の箱どけ道を肥車曳きつゝ歸る吐く息の白さ
- 何事の不平もなげにのつそりと体投げ出し草はめる牛
- 牧場の隅今日も一匹放たれし牡牛の背に粉雪ふりくる
- 牛の鼻舌の半ばは入れつべし穴をかたみになめすり飽かぬ
- 頭の上の瘤にかも似るふくれたる犢の角の柔らかに見ゆ
- たら／＼とよだれ滴らしつ朝鮮うし鼻のすずりて來る落葉道

高 端 巍

- 縁起よきもの手に入るの家々の者は床置の牛まで廻しをり
- 床置の古銅の牛は待ちうけて干支に合へるとは、まじげなる
- 沈黙なるまなこの光り體より角より他をおしつくる牛
- 丑歳にあひて姿の沈黙なる牛にそわれはたぐふべうなり

新年雑詠

安 齋 旗 城

- 鶏まだしき元朝を起きて火を燈れば神代の姿おもほゆるかも
- 來ん歳の幸を汲まむと若水をわがさげ來れば初鶏の啼く
- 朝きよめて幸いなる年頭のすが／＼しけれ雪のあけぼの
- 大君と我家の彌樂いのなる初日さしのぼる天地の前
- 永遠にかくてを在らんさしのぼる初日おろがむ今朝の心は
- 新らしき日曆けふを掛けそめつ三百六十五日安かれ

原 健 三

正月を待つ

- 待遠し正月にはく編籠をこつそり出して足あてゝ見る
- 妹を迎ひに明日ゆく父は東京地圖に朱線ひきををり
- ダム終へて歸る師走の灯あかりに静けく雪の降る夕かな
- 雲暗く炭竈は師走のたそがれに皆黙々として出水氣すかふ
- トロッコの白きむくろが果々と師走の風に吹き晒さるる

『田家雪』

永 戸 萩 野 久 良

- わらはへの鬼ことやみて山里は年の始めの初雪のふる
- 豊かなる秋の實をしめあげて田つらの里に初雪の見ゆ
- 豊年のしるなるらんとしたちて山田の庵に初雪のふる
- 今朝見れば野山は雪に埋もれて豊かに明るく小山田の里

國 玉 喜 輝

- 老いらくの父を愛しみ甲斐もなき生命を生きて我は廿四
- 萬歳はかなしからずや大紋の衣の紅さへあせて披れ來る
- 年に一度のひとの賀状もあるやらむ束をとまきつゝこゝろたのしも
- 死んだ友の去年の賀状を出して見る佻しい元朝の物思ひかな
- ふいと書く手を止めぬ此の人ども賀状一枚ですむ仲となりし
- 風のうなり見上ればあせし睦月空に光りて遠し白き一點
- 君嫁かば我は死なむと誓ひてし我にやはあらぬ新春になは生くる
- 甲斐もなき愁ひは捨てよ若き日の生命をつよく生くべかりけり
- 哀しきは死なむとまてもなげきしを忘れ呆けてなほ生くること

新年雑詠

安 齋 旗 城

- 初風呂や我が鏡腕の紅潮す静けさは賀状整理に更けて居しほの／＼と炭火の匂ふ福壽草歌かるたいたくぞ老いぬ手の運き萬才の堤の月に吹かれ行く
- 初日誌たゞ記されゆく青春譜女教師の手に四五人や初登校物干におろがむ街の初日哉
- 厚くやむ雪の遠嶺をハッリ越し雪底にせゝらぎを聞く葦屋哉
- 『牛』安 齋 旗 城
- 石牛の胸のあたりや雪間草囁りに牧場遊閑の臥牛哉
- 山茶花の咲く荒れ地や牛の蹄かける鬮に牛吼れ止まず落椿

平 華 生

磐城炭鑛株式會社
所長 菅原萬治郎
副所長 濱崎善三郎

入山探炭株式會社
取締役所長 吉田宗雄
取締役副所長 大貫經次

古河鑛好間鑛業所
所長 下野十朗
係長 安孫子虎雄

不動澤炭鑛
石城郡内郷村

福島炭鑛株式會社
專務取締役 菊池徳太郎

入立國勞働自治會
會長 松庄繁一

萩原鑛業所
社長 萩原申八

杉山炭鑛
福島縣石城郡内郷村

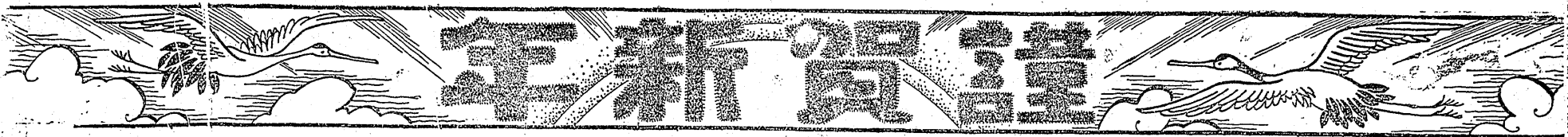
川瀨炭鑛々々主
川瀨 幸治
福島縣石城郡赤井村

戸部炭鑛
小野田 鑛業所
戸部 光衛

植田水力電氣株式會社
社長 金成 通

堀江工業株式會社
出張所 東京市麹町區大手町二ノ二
電話九の九一、三三九
電話九の九一、八三三番
八戸市後町(電話四〇六番)
專務取締役 鈴木唯治
取締役兼工務部長 堀江新太郎
支配人 長谷川常吉

内郷村白水
白水炭鑛會



新年賀詞

平町長代理 井上 茂作

皇紀二千五百九十七年の愛町の精神に富める有産階級... 新年を迎へて...

吉凶？今年の運勢

○一白水星 本年もまた運気転換の機を渡る心持で、一歩々々...

運気一掃、百難一時に

運気一掃、百難一時に至る。運気一掃、百難一時に至る...

運気一掃、百難一時に

運気一掃、百難一時に至る。運気一掃、百難一時に至る...

運気一掃、百難一時に

運気一掃、百難一時に至る。運気一掃、百難一時に至る...

小川助役決定 下小川村助役は客臘二十八日の...

增收一躍四萬圓 昨年中の總決算に 山崎驛長さん朗か...

平の驛春 平驛昨年中の總決算の「賀状洪水」が押し...

平局の 賀状洪水！ 引受四十萬突破...

春のこぼれ 鵜沼孝昌 新玉の年のわがやぐ且より...

平町土木建築 請負業組合 長谷川曾次郎...

下小川村役場 小料理 翠 月 平町中田町...

石川亭 御料理 宗像敬治 平町電話四四番...

片倉磐城製糸株式會社 日本ゼネラルモーターズ株式會社...

松本徳一 宮城銀行 事務取締役 山田勇太郎...

釜屋商店 諸橋元太郎 諸橋元三郎...

神奈川炭礦 朽窪礦業所 矢郷倉藏...

大星炭礦 安原大造 日野炭礦 佐藤三平...

久和健一 植田郵便局長 馬上守一...

四倉町々會議員 長谷川曾次郎 大和田安太郎...

平町土木建築 請負業組合 長谷川曾次郎...

下小川村役場 小料理 翠 月 平町中田町...

石川亭 御料理 宗像敬治 平町電話四四番...

片倉磐城製糸株式會社 日本ゼネラルモーターズ株式會社...

松本徳一 宮城銀行 事務取締役 山田勇太郎...

釜屋商店 諸橋元太郎 諸橋元三郎...

神奈川炭礦 朽窪礦業所 矢郷倉藏...

平町土木建築 請負業組合 長谷川曾次郎...

下小川村役場 小料理 翠 月 平町中田町...

磐城無盡株式會社 事務取締役 小宅嘉久治...

平藝妓屋組合 松本徳一 宮城銀行...

石城郡銀行組合 釜屋商店 諸橋元太郎...

平町土木建築 請負業組合 長谷川曾次郎...

下小川村役場 小料理 翠 月 平町中田町...

石川亭 御料理 宗像敬治 平町電話四四番...

片倉磐城製糸株式會社 日本ゼネラルモーターズ株式會社...

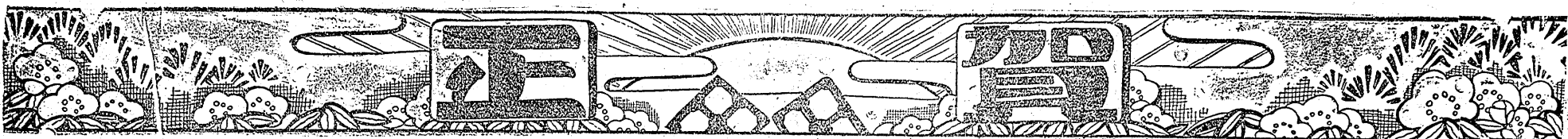
松本徳一 宮城銀行 事務取締役 山田勇太郎...

釜屋商店 諸橋元太郎 諸橋元三郎...

神奈川炭礦 朽窪礦業所 矢郷倉藏...

平町土木建築 請負業組合 長谷川曾次郎...

下小川村役場 小料理 翠 月 平町中田町...



元日試筆

○越後獅子
まだ、やつと五つか六つの女の足が、開きかぢりやの器子をつけて
おのがすがたを
花とみても……

白髪草子

正月の休みみだけでも、ゆつくりと落ちついて、この人たちの筆道を味はひたいと思つてゐる

○川上漸博士

臘月の三昧の席上で、際學博士には文章家が多いやうですわね、といふ話にやうして、盛大の川上漸博士とて、慶太の川上漸博士といふものから始まる一編を得た。

親類などの子供らが来てレコードをせがまれると、はやも頃も童謡も私は持合せないで困ることがあるが『越後獅子』ならば子供にもおもしろいだらうと思つて、鳴物のある和風のレコードをかけてやる。それがいつかから、片言まじりにおぼえもまじりまじりなもので、我作ら、お仕込みがうまいなあと思ふ

私は、小三郎のレコードはあまり高價なので『越後獅子』と『鶴鶴』、それに一枚もの、『松の緑』があるだけで、伊十郎の『勸進帳』を除いて、あとは殆んど和風のものがばかりである。然し、小三郎は、追かへて、この人ならは聞かれない至極の味があつて、和風よりもむしろ私は好きであらう。歌人では今井邦子氏が和風風流であるが、和風に和風の味があつて、殊に

この『断絶』は西園寺お宅へお伺ひして川上先生も愛讀されて、博士の漢に就いてのお話を承りたい籍詩文に造詣深く、且つその思想の鋭い文章を賞してゐたといふこと、昨年の夏は、同じく京都の人文書院から『寒燈』と題した隨筆集を出してゐる。私としては、むしろこの『寒燈』に、より親しむをおぼえるやうな気がする

正月の休みみだけでも、ゆつくりと落ちついて、この人たちの筆道を味はひたいと思つてゐる

○附言
ハッポコサラマンの細民生活から足を洗はう、洗濯洗髪洗濯 洗濯洗髪洗濯 洗濯洗髪洗濯

○附言
ハッポコサラマンの細民生活から足を洗はう、洗濯洗髪洗濯 洗濯洗髪洗濯 洗濯洗髪洗濯

○附言
ハッポコサラマンの細民生活から足を洗はう、洗濯洗髪洗濯 洗濯洗髪洗濯 洗濯洗髪洗濯

○附言
ハッポコサラマンの細民生活から足を洗はう、洗濯洗髪洗濯 洗濯洗髪洗濯 洗濯洗髪洗濯

○附言
ハッポコサラマンの細民生活から足を洗はう、洗濯洗髪洗濯 洗濯洗髪洗濯 洗濯洗髪洗濯

この『断絶』は西園寺お宅へお伺ひして川上先生も愛讀されて、博士の漢に就いてのお話を承りたい籍詩文に造詣深く、且つその思想の鋭い文章を賞してゐたといふこと、昨年の夏は、同じく京都の人文書院から『寒燈』と題した隨筆集を出してゐる。私としては、むしろこの『寒燈』に、より親しむをおぼえるやうな気がする

正月の休みみだけでも、ゆつくりと落ちついて、この人たちの筆道を味はひたいと思つてゐる

○川上漸博士
臘月の三昧の席上で、際學博士には文章家が多いやうですわね、といふ話にやうして、盛大の川上漸博士とて、慶太の川上漸博士といふものから始まる一編を得た。

親類などの子供らが来てレコードをせがまれると、はやも頃も童謡も私は持合せないで困ることがあるが『越後獅子』ならば子供にもおもしろいだらうと思つて、鳴物のある和風のレコードをかけてやる。それがいつかから、片言まじりにおぼえもまじりまじりなもので、我作ら、お仕込みがうまいなあと思ふ

私は、小三郎のレコードはあまり高價なので『越後獅子』と『鶴鶴』、それに一枚もの、『松の緑』があるだけで、伊十郎の『勸進帳』を除いて、あとは殆んど和風のものがばかりである。然し、小三郎は、追かへて、この人ならは聞かれない至極の味があつて、和風よりもむしろ私は好きであらう。歌人では今井邦子氏が和風風流であるが、和風に和風の味があつて、殊に

この『断絶』は西園寺お宅へお伺ひして川上先生も愛讀されて、博士の漢に就いてのお話を承りたい籍詩文に造詣深く、且つその思想の鋭い文章を賞してゐたといふこと、昨年の夏は、同じく京都の人文書院から『寒燈』と題した隨筆集を出してゐる。私としては、むしろこの『寒燈』に、より親しむをおぼえるやうな気がする

正月の休みみだけでも、ゆつくりと落ちついて、この人たちの筆道を味はひたいと思つてゐる

○附言
ハッポコサラマンの細民生活から足を洗はう、洗濯洗髪洗濯 洗濯洗髪洗濯 洗濯洗髪洗濯

○附言
ハッポコサラマンの細民生活から足を洗はう、洗濯洗髪洗濯 洗濯洗髪洗濯 洗濯洗髪洗濯

○附言
ハッポコサラマンの細民生活から足を洗はう、洗濯洗髪洗濯 洗濯洗髪洗濯 洗濯洗髪洗濯

○附言
ハッポコサラマンの細民生活から足を洗はう、洗濯洗髪洗濯 洗濯洗髪洗濯 洗濯洗髪洗濯

○附言
ハッポコサラマンの細民生活から足を洗はう、洗濯洗髪洗濯 洗濯洗髪洗濯 洗濯洗髪洗濯

○附言
ハッポコサラマンの細民生活から足を洗はう、洗濯洗髪洗濯 洗濯洗髪洗濯 洗濯洗髪洗濯

新年身邊

島田忠夫

○富み足りて年を迎ふることなし今年も常の憂はつたが、新年にあそぶゆとりもなくなり白髪まじりな髪なづるはや

○あたらしき年の始めと酒くまひゆとりもなく

○おぼえもまじりまじりなもので、我作ら、お仕込みがうまいなあと思ふ

私は、小三郎のレコードはあまり高價なので『越後獅子』と『鶴鶴』、それに一枚もの、『松の緑』があるだけで、伊十郎の『勸進帳』を除いて、あとは殆んど和風のものがばかりである。然し、小三郎は、追かへて、この人ならは聞かれない至極の味があつて、和風よりもむしろ私は好きであらう。歌人では今井邦子氏が和風風流であるが、和風に和風の味があつて、殊に

この『断絶』は西園寺お宅へお伺ひして川上先生も愛讀されて、博士の漢に就いてのお話を承りたい籍詩文に造詣深く、且つその思想の鋭い文章を賞してゐたといふこと、昨年の夏は、同じく京都の人文書院から『寒燈』と題した隨筆集を出してゐる。私としては、むしろこの『寒燈』に、より親しむをおぼえるやうな気がする

正月の休みみだけでも、ゆつくりと落ちついて、この人たちの筆道を味はひたいと思つてゐる

○川上漸博士
臘月の三昧の席上で、際學博士には文章家が多いやうですわね、といふ話にやうして、盛大の川上漸博士とて、慶太の川上漸博士といふものから始まる一編を得た。

親類などの子供らが来てレコードをせがまれると、はやも頃も童謡も私は持合せないで困ることがあるが『越後獅子』ならば子供にもおもしろいだらうと思つて、鳴物のある和風のレコードをかけてやる。それがいつかから、片言まじりにおぼえもまじりまじりなもので、我作ら、お仕込みがうまいなあと思ふ

私は、小三郎のレコードはあまり高價なので『越後獅子』と『鶴鶴』、それに一枚もの、『松の緑』があるだけで、伊十郎の『勸進帳』を除いて、あとは殆んど和風のものがばかりである。然し、小三郎は、追かへて、この人ならは聞かれない至極の味があつて、和風よりもむしろ私は好きであらう。歌人では今井邦子氏が和風風流であるが、和風に和風の味があつて、殊に

この『断絶』は西園寺お宅へお伺ひして川上先生も愛讀されて、博士の漢に就いてのお話を承りたい籍詩文に造詣深く、且つその思想の鋭い文章を賞してゐたといふこと、昨年の夏は、同じく京都の人文書院から『寒燈』と題した隨筆集を出してゐる。私としては、むしろこの『寒燈』に、より親しむをおぼえるやうな気がする

正月の休みみだけでも、ゆつくりと落ちついて、この人たちの筆道を味はひたいと思つてゐる

街頭小景

渡邊何鳴

○互にさびしいことではあるが、級が少くないと思ふ。従つては只、詩人たるものは、まじり、毎月の『改造』地方の文化水準も、甚だ低く、詩を作らぬ、歌人たるは、中央公論』或は『文藝』のものでもなく、歌を作らぬ。

○互にさびしいことではあるが、級が少くないと思ふ。従つては只、詩人たるものは、まじり、毎月の『改造』地方の文化水準も、甚だ低く、詩を作らぬ、歌人たるは、中央公論』或は『文藝』のものでもなく、歌を作らぬ。

○互にさびしいことではあるが、級が少くないと思ふ。従つては只、詩人たるものは、まじり、毎月の『改造』地方の文化水準も、甚だ低く、詩を作らぬ、歌人たるは、中央公論』或は『文藝』のものでもなく、歌を作らぬ。

○互にさびしいことではあるが、級が少くないと思ふ。従つては只、詩人たるものは、まじり、毎月の『改造』地方の文化水準も、甚だ低く、詩を作らぬ、歌人たるは、中央公論』或は『文藝』のものでもなく、歌を作らぬ。

○互にさびしいことではあるが、級が少くないと思ふ。従つては只、詩人たるものは、まじり、毎月の『改造』地方の文化水準も、甚だ低く、詩を作らぬ、歌人たるは、中央公論』或は『文藝』のものでもなく、歌を作らぬ。

○互にさびしいことではあるが、級が少くないと思ふ。従つては只、詩人たるものは、まじり、毎月の『改造』地方の文化水準も、甚だ低く、詩を作らぬ、歌人たるは、中央公論』或は『文藝』のものでもなく、歌を作らぬ。

○互にさびしいことではあるが、級が少くないと思ふ。従つては只、詩人たるものは、まじり、毎月の『改造』地方の文化水準も、甚だ低く、詩を作らぬ、歌人たるは、中央公論』或は『文藝』のものでもなく、歌を作らぬ。

平町 合資平電氣鋳鋼所	平町 西山惠一 合資平電氣鋳鋼所	平町 郡山無盡株式 平出張所	平町 カプエー 平町南町	平町 濱三郎凍水 仲買人組合	平町 株式百澤商店 電話(平)十二番	平町 戸川隆之 平町鏡台町一八	平町 平砂糖商組合	平町 井坂産科醫院 電話五五九番	平町 野村生命保險株式會社 平出張所 所長 福島健之 長橋町四七	平町 吉村安次郎 研町	平町 磐城新聞社 遠沼龍輔 鈴木三郎 江尻三郎 小野光太郎 室越鶴次郎 小野光男 阿部一馬 吉田和佐美 山本泰弘 會川幸太郎	平町 日下家政婦會 會長 日下すい	平町 平町立町	平町 佐藤榮吉 藥品一般、處方調劑	平町 水野藥局 藥品一般、處方調劑	平町 酒井伴城 平 驛前	平町 清野商店 電話七二六番	平町 山野邊材店 電話三三〇番	平町 君の家 電話三三八番	平町 高橋活版所 電話三三二番	平町 武藏鐵工所 遠山裕吉	平町 高久病院 高久病院長	平町 久保木醫院 植田二八番	平町 平町六〇 平電力株式會社 電話(平)二九七番	平町 おでん一平 電話二六三番	平町 鈴木洋服店 鈴木謙造	平町 二本松電氣株式會社 本社小名濱支店	平町 堀藥局 電話三三六番	平町 坂本紙店 電話一八八番	平町 藤市蒲鉾店 電話三〇五番	平町 難波醫院 電話一〇七番	平町 江口清 萬年社	平町 芳賀辨之助 草野村長	平町 渡邊重彌 四倉築港所長	平町 關根高次 四倉町醫	平町 額賀襄 四倉町醫	平町 新妻吉之介 久之濱漁業組合長	平町 西山義惠 四倉町本町	平町 箱崎瀧三郎 石城郡玉川村	平町 山田村小學校長	平町 大越國治 石城製菓組合長	平町 小澤光次 上遠野村	平町 齋藤廣三 植田登記所長	平町 丹羽芳次 植田町營林署長	平町 吉田正愛 菊多實業學校校長	平町 永山定秀 渡邊村長	平町 石田組 電話六一番	平町 高木醫院 植田町	平町 萬年社 四倉町長新妻盛	平町 江口清 萬年社	平町 芳賀辨之助 草野村長	平町 渡邊重彌 四倉築港所長	平町 關根高次 四倉町醫	平町 額賀襄 四倉町醫	平町 新妻吉之介 久之濱漁業組合長	平町 西山義惠 四倉町本町	平町 箱崎瀧三郎 石城郡玉川村	平町 平製氷株式會社 取締役社長 木村清治 事務取締役 松本一郎	平町 御料理 末廣 平町南町 電話四二二	平町 大床 平町田町	平町 平材木商組合 丸玉會社 平町	平町 馬目玉彌 電話四五三番	平町 平時計商組合	平町 大日本電力平營業所	平町 好問村會議員 役場吏員一同	平町 平方部靴同業組合事務所 平町町六八 電話七十七番	平町 好問村 木田彌作	平町 多田并笑次郎 平町二丁目	平町 御料理 越乃家 天婦羅	平町 平町寫眞師會 増田耳鼻咽喉科醫院 平町南町 電話四八二番	平町 平運輸株式會社 平町南町 電話二九四番	平町 田邊商店 平町南町 電話二九四番	平町 張中年賀缺禮 磐城 磐城	平町 御料理 末廣 平町南町 電話四二二	平町 大床 平町田町	平町 平材木商組合 丸玉會社 平町	平町 馬目玉彌 電話四五三番	平町 平時計商組合	平町 大日本電力平營業所	平町 好問村會議員 役場吏員一同	平町 平方部靴同業組合事務所 平町町六八 電話七十七番	平町 好問村 木田彌作	平町 多田并笑次郎 平町二丁目	平町 御料理 越乃家 天婦羅	平町 平町寫眞師會 増田耳鼻咽喉科醫院 平町南町 電話四八二番	平町 平運輸株式會社 平町南町 電話二九四番	平町 田邊商店 平町南町 電話二九四番	平町 張中年賀缺禮 磐城 磐城
----------------	------------------------	----------------------	--------------------	----------------------	--------------------------	-----------------------	--------------	------------------------	--	-------------------	---	-------------------------	------------	-------------------------	-------------------------	--------------------	----------------------	-----------------------	---------------------	-----------------------	---------------------	---------------------	----------------------	------------------------------------	-----------------------	---------------------	----------------------------	---------------------	----------------------	-----------------------	----------------------	------------------	---------------------	----------------------	--------------------	-------------------	-------------------------	---------------------	-----------------------	---------------	-----------------------	--------------------	----------------------	-----------------------	------------------------	--------------------	--------------------	-------------------	----------------------	------------------	---------------------	----------------------	--------------------	-------------------	-------------------------	---------------------	-----------------------	---	----------------------------	------------------	-------------------------	----------------------	--------------	-----------------	------------------------	-----------------------------------	----------------	-----------------------	----------------------	--	------------------------------	---------------------------	-----------------------	----------------------------	------------------	-------------------------	----------------------	--------------	-----------------	------------------------	-----------------------------------	----------------	-----------------------	----------------------	--	------------------------------	---------------------------	-----------------------

謹賀新年

平町紺屋町
住吉屋本店
電話一五九番

旅温泉
山形屋
電話四番

湯本信用無盡株式會社

磐城工業株式會社
福小野伊太郎

福好工業合資會社
強口唯七郎
電話二八二番

高橋龜松
平町白銀町
電話六三八番

石城郡内各學校長會

契約高六億達成
富國徵兵保險相互會社
警務事務取扱所主任 長瀬富彌
平町材木町 電話三三一
平町務取扱所主任 木幡林助
警務監督所主任 高橋元吉
平町紺屋町九電呼三三

木村清治

矢吹豊
石城郡夏井村

豊間大敷事務所

赤堀信平
東京市池野川町西大原六九二
電話王子一三六三番

江名町役場

豊間村役場

平町一丁目
水野藥局
藥品一般、處方調劑
平町三丁目
電話二五九番

伊勢屋商店
阿部唯次郎
電話四十五番
振替東京一光九番

吉田美容院
九島田 專門
電話一四一

關内藥局
平町四丁目
電話四〇番

理髮東京
平町三丁目警察署通

木村病院
平町新川町
電話一六四番

實川彌太郎
實川産婦人科醫院
平町田町
電話二七〇番

谷口樓
電話一五六番

早川材木店
電話五八四番
平町田町五

桑原柔道
平町公園下
電話六七四番

熊謙次郎
一葉印刷所
平町仲町電話一九三番

渡邊内見科醫院
平町ネヅ坂
電話一六一番

三井タクシ
平町二丁目
電話六八五番

大村屋旅館
平町二丁目
電話四四一

平町極小路壹番地
佐藤福太郎
材木商
電話二三五番

材木店
瀧口 豊
平町五丁目
電話二九〇番

藤寅
平町一丁目
電話一四一

會田時計店
平町
電話一四一

大平屋藥店
平町一丁目

大角園
平町極小路

平消防組
組頭 井上茂作
副組頭 關内正一
庶務部長 堀木長三郎
會計部長 三井富吉
第一部長 酒井清吉
第二部長 岡田政次郎
第三部長 鈴木彌太郎
第三部長 高根澤長太郎
小頭 高根澤長太郎
中頭 宣治
田中 宣治
根本 幸次郎
阿部 治郎
金成 泉一郎
織田 萬次郎
阿部 章
菊田 萬吉
片寄 正吉
小菅 榮之助
水野 壽雄
大野 松之助
松崎 喜一

山崎合名會社
ワルマ
電話本店二七番 營業部一〇番

平庶民金庫

水野虎三郎

古川傳一

井上貞治郎
警城建物株式會社
取組役 支配人

小野晋平
縣會議員
小名濱町長

阿部政右衛門
石城郡町村長

福島縣會議員
野崎滿藏
關内正一

縣土木請負業組合
平 支 部

尼子タクシ
平町二丁目
電話六四〇番

織田材木店
福島縣平野町
天井板、床柱
建築用材
電話四六〇番

佐々木健一郎
平町才地小路十三

小林清吉
平町鐵道町
町會副議長
萩原義雄
平郵便局 佐藤守節

松比佐館
湯本町
比佐榮一

廣瀨支店
平町田町
電話五四番

高久村役場
村長 鈴木喜太郎
助役 鈴木武
收入役 鈴木正一
書記 藤谷明
猪狩 梅吉
猪狩 久男

本多忠綱
本多忠綱
酒井眞次
渡邊正彦
折笠吉太郎

平館
日活活動
洋裁常設

石城郡町村長

平町田町
佐川洋服店
電話四一八番

平町
富士食堂
電話六七七番

日本姓名學會
東北支部長
電話六七七番

鶴沼孝昌
星 恒明
電話四七一番
大和田郡司
電話一七〇番
大 森 勇
電話二五八番
大河内一郎
電話五八八番
金成忠義
電話三五八番
吉田久雄
電話六八八番
根本 莊次郎
電話三四番
松村鐵郎
電話一〇七番
藤沼平次郎
電話五〇七番
酒井國三郎
電話三五番
白土德彌
電話二七九番
志賀正光
電話一六三番
鈴木亮
電話四三八番

大塚製靴部
大塚製靴部
店主大塚鳳三郎
平町電話七七番

平三業
平町三丁目
電話二七九番

時報堂
平町新道通

山田忠太郎
三丁目

鈴木染工場
平町南町
電話四九二番

阿部藥舖
平町田町
電話二四四番

平會館
平町三丁目
電話二四四番

大貞
平町田町
電話四一三番

山田文一
仲町
電話四一三番

清宮運送店
平町六丁目
電話二六七番

平町田町
高崎松三
西洋料理
電話六六六番

大塚製靴部
大塚製靴部
店主大塚鳳三郎
平町電話七七番

平三業
平町三丁目
電話二七九番

時報堂
平町新道通

山田忠太郎
三丁目

鈴木染工場
平町南町
電話四九二番

阿部藥舖
平町田町
電話二四四番

平會館
平町三丁目
電話二四四番

大貞
平町田町
電話四一三番

山田文一
仲町
電話四一三番

清宮運送店
平町六丁目
電話二六七番

鶴屋商店
平町四丁目
電話百四十番

平町三丁目
久野ひさ
御料理 八千代
平町新田町 電話三七五番

上田外科醫院
平町南町 電話二二九番

好間小學校
校長 吉田庄太郎
外職員一同

柏原幸次郎
平町二丁目

伊藤淺之助
飯野村
村長

大谷時計店
平町

平料理屋組合

江名町役場

保證責任江名信用販賣購買利用組合
上野駅前 旅館 大幸館
東京市下谷區仲御徒町四
電話下谷六七七番

川村源市
東京市麻布區櫻田町七拾壹番地
電話赤坂(48)四七〇〇番

山崎庫太郎
平町三丁目三〇 星チヤンストア平支部
一般藥品 醫藥器械
電話四二九番
駒木根 忠 敬

貴族院議員 金成通
衆議院議員 比佐昌平
衆議院議員 鈴木辰三郎